

高校生の進路選択において、学部選択の理由として薬剤師の国家資格が取得できるという目標が比較的明確な薬学部は、「薬剤師になりたい」と希望する高校生には、選びやすくわかりやすい学部です。しかし薬学教育は、6年制ということもあり、期待や希望に胸を膨らませて入学してきた時のモチベーションを6年間、入学生全員が維持することは少し困難と感ずることもあります。モチベーションが低下する理由は多様ではありますが、カリキュラムの過密さや、成績不振、学習法の迷い、大学生活における対人関係の構築等が考えられています。

入学後の時点での学習習慣やモチベーション向上は、「入学前教育」が有効であると考えています。大学入学前に大学での学びに必要な基礎学力をしっかりと身に付けることは、高校までの学びと大学の学びの接続ができ、なぜ大学で学ぶのかの動機付けにもつながると思います。入学後の学びが自身の目指す目標に向かって、スムーズに進められるためにも、生物や化学等の薬学の基礎となる科目が、薬学専門教育にどうかかわっていくのか、体系的に早めに理解することが大切と思われます。入学前教育の実施は、将来への目的意識の醸成、入学後の学びにおける必要な分野についての認識を新たにする重要な機会と思われます。このような基礎学力向上と合わせて、入学後大学生活をより充実させるための学生同士の仲間づくり・交流を深めるため、新潟薬科大学では「入学前スクーリング」も実施しています。多種多様なプログラムを組み合わせた入学前教育の実施は、入学後の各自の目標や志を確認する良いきっかけになっていると考えています。

入学前教育から指導をスタートすることについて（事例校の声）

Confidential
32

取材③ 新潟薬科大学 薬学部 薬学教育センター センター長 教授 飯村 菜穂子 先生

薬学教育の6年間、入学してきた時のモチベーションを入学生全員が維持することは少し困難と感ずることがある。そのなかにおいて、**入学後の学習習慣やモチベーション向上には、「入学前教育」が有効**であると考えている。

大学入学前に大学での学びに必要な基礎学力をしっかりと身に付けることは、高校までの学びと大学の学びの接続ができ、なぜ大学で学ぶのかの動機付けにもつながる。また**入学後の学びが自身の目指す目標に向かって、スムーズに進められるために、「生物や化学等の薬学の基礎となる科目が、専門教育にどうかかわっていくのか」など、体系的に早めに理解することが大切**と思われる。

入学前教育の実施は、将来への目的意識の醸成、入学後の学びに必要な分野についての認識を新たにする重要な機会と考えている。

次年度からは、教員主導で化学の個別指導を行い、より強化していく予定であり、入学前教育で得られた学習データと、意欲・関心に関するデータを事前に確認し、教員の指導効果を最大化していきたいと考えている。

